

## もっと安心農産物 スイカ(ハウス)栽培暦(平成29年)

JA富里市 西瓜部

1. 土づくり

作付前に堆肥を施用する

2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守

	肥料名	施肥量
基肥	代替え肥料選定中	200kg/10a
	<土壌改良資材> セルカ(有機石灰)・苦土石灰・畑のカルシウム 硫マグ・苦土重焼燐・BM ようりん・硫加・ 土づくり12号	土壌診断結果により必要量を施用

3. 防除 化学合成農薬 8 カウント (成分×回数)まで (苗購入の場合 6 カウントまで)

月	管理 作業	病虫害の 発生推移	薬剤名	希釈倍数 ・処理量	対象病虫害	備 考(耕種的防除の実施等)
12月	は種	センチュウ 立枯病				アブラムシ・ハダニ防除のためハウス内および周辺の除草を実施する
1月	施肥		D-D	15~20L/10a (植付 10~15 日 前まで)	ネコブセンチュウ	
			または ネマトリンエース粒剤	20kg (定植前)	ネコブセンチュウ	
2月	定植		アトマイヤー1粒剤	1~5g/株	アブラムシ類	苗床ですらしを実施し、ガッチリとした苗づくりをする
3月	交配	アブラムシ 菌核病	ペルクート水和剤	1000 (収穫前日迄)	菌核病 つる枯病	換気を実施しハウス内の湿度を下げ、病害の発生をおさえる
			ハロックフロアブル	2000 (収穫前日迄)	ハダニ類	
			ウララDF	2000 (収穫前日迄)	アブラムシ類	
4月		うどんこ病 つる枯病	カンタドライブフロアブル	1000~1500 (収穫前日迄)	菌核病	うどんこ病はまん延してからでは遅いので早めに防除を行う
5月			デュアルサイト水和剤	2000 (収穫3日前迄)	ハダニ類 アザミウマ類	
	収穫					

☆変更可能な農薬

(上記の表の農薬と変更して、認証基準を超えない範囲で使用可能)

薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	使用時期(収穫前)
ドロクロール	1 穴当り 2~3ml	つる割病:センチュウ類	
オーソサイド水和剤 80	800 倍 600 倍	苗立枯病 つる枯病・べと病	14日前まで
ネマキック粒剤	15~20 kg/10a	ネコブセンチュウ	定植前
ロディーくん煙顆粒	100 立方m当り 20g	ハダニ類	前日まで
マイコーネフロアブル	1000倍	ハダニ類	前日まで
ダニサラバフロアブル	1000倍	ハダニ類	前日まで
モメントフロアブル	2000 倍	アブラムシ・ハダニ・アザミウマ・コナジラミ	前日まで
ロディー乳剤	1000~2000 倍	アブラムシ類・ハダニ類	前日まで
ウララ DF	2000倍	アブラムシ類	前日まで
アドマイヤー水和剤	2000倍	アブラムシ類 ・ ミナキイロアザミウマ	3日前まで
アフーム乳剤	1000~2000 倍	ミナキイロアザミウマ	前日まで
アグリメック	500~1000 倍	アザミウマ類・ハダニ類	前日まで
チェス顆粒水和剤	5000 倍	アブラムシ類	3日前まで
スレックスくん煙顆粒	100立方m当り 6g	菌核病	7日前まで
スレックス水和剤	1000倍	菌核病・つる枯病	7日前まで
ロブラールくん煙剤	300~400 立方m 当り 100g	菌核病	前日まで
トリフミン水和剤	3000~5000 倍	うどんこ病	前日まで
パンチョ TF 顆粒水和剤 ※2成分 トリフミン水和剤の成分 含む。総使用回数注意	2000倍	うどんこ病	前日まで
シグナム WDG(2成分) ※カクタスライフロアブルの 成分含む。総使用回数 注意	1500~2000 倍	うどんこ病、つる枯病、炭疽病	前日まで
カスミンボルドー	1000倍	うどんこ病、褐斑細菌病	前日まで
ストロビーフロアブル	2000~3000 倍	うどんこ病、つる枯病、炭疽病	前日まで
ガッテン乳剤	5000 倍	うどんこ病	前日まで

☆ちばエコ農業で化学合成農薬に含めない農薬

薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	使用時期(収穫前)	使用回数
デュアルサイド水和剤	2000倍	ハダニ類・アザミウマ類	3日前まで	5回以内
コロマイト乳剤	1000倍	ハダニ類	7日前まで	2回以内
スピノエース顆粒水和剤	5000倍	ミナキイロアザミウマ	前日まで	2回以内
カリグリーン	800~1000 倍	うどんこ病	前日まで	—
イオウフロアブル	500倍	うどんこ病	—	—

